

3年1組		指導者	〇〇〇〇	教科等	体育科
単元	単元名等	ゴール型ゲーム「タグラグビー」			
	単元の評価規準	知識・技能	○タグラグビーの行い方について、言ったり書いたりしている。 ○ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ◆ <u>味方にボールを手渡したり、パスを出したり、ゴールにボールを持ち込んだりすることができる。</u>		
		思考・判断・表現	○攻めを行いやすいようにするなどの規則を選んでいる。 ○ボールを持っている人とボールを持っていない人の役割を踏まえた作戦を選んでいる。 ○パスを出したり、ゴールにボールを持ち込んだりするときの工夫を友達に伝えている。		
		主体的に学習に取り組む態度	○ゲームに進んで取り組もうとしている。 ○規則を守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ○用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ○ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 ○友達の考えを認めようとしている。 ○場や用具の安全を確かめている。		
	単元の学習展開				
導入	□学習の進め方の見通しを持つ				
展開	□基本的なボール操作を身に付け、ルールを覚える □チームに合った簡単な作戦を選ぶ				
終末	□これまで学習したことを活かしてタグラグビー大会をする				

本時 (5/全9時間)	ねらい	タグラグビーのゲームを通して、チームに合った作戦を選んだり、作戦に合った練習をしたりすることにより、 <u>味方にボールを手渡したり、パスを出したり、ゴールにボールを持ち込んだりすることができるようにする。</u> 下線部・・・評価規準【◆知・技 観察・ICT】			
	学習過程	「めあて」や『課題』の確認 「チームに合った作戦を選んだり、チーム練習をしたりして、得点につながる動きをしよう」 本時で学んだことの『まとめ』や「振り返り」 「[ぴったり作戦]で、〇〇さんがボールを持っている人の後ろにいつもいたのでよかった」 「ボールを持っていない人は「hey」と呼ぶことに気がつけてチーム練習したので、タグを取られる前に友達にパスが出しやすかった」			
	努力を要す状況の児童生徒に対する手立て	【予想されるつまづき】	【必要な支援・手立て】		
		ボールを誰もいないところに放り投げたり、トライしたりすることができていない	仲間を見てからボールの手渡しやパスをしたり、ボールを持つ人のすぐ後ろについてもらったりするような声かけ・練習の支援を行う		